

エフ・エス株式会社

第 3 1 期

決 算 公 告

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	507,849	流動負債	151,674
現金及び預金	322,209	買掛金	41,309
売掛金	163,806	未払金	43,836
商品	11,182	未払法人税等	7,699
前払費用	10,790	賞与引当金	11,256
貸倒引当金	△140	その他	47,572
固定資産	132,000	固定負債	156,747
有形固定資産	35,944	退職給付引当金	129,702
建物	11,578	役員退職慰労引当金	26,865
建物附属設備	7,565	その他	180
機械装置	10,308		
車両	2,598	負債合計	308,422
工具器具備品	3,892	(純資産の部)	
無形固定資産	3,707	株主資本	
その他	3,707	資本金	50,000
投資その他の資産	92,349	利益剰余金	
差入保証金	34,597	利益準備金	12,500
繰延税金資産	51,289	その他利益剰余金	
その他	15,421	別段積立金	80,000
貸倒引当金	△8,960	繰越利益剰余金	188,927
		純資産合計	331,427
資産合計	639,850	負債・純資産合計	639,850

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 当期純損益金額

当期純利益：80,516 千円

3. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 商品 総平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ①有形固定資産 定率法によっております。
ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。
- ②無形固定資産 定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

- ①貸倒引当金 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ②賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事行年度に負担すべき額を計上しております。
- ③退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。
- ④役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる事項

- 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

以上